



令和8年7月16日
みよし市立北中学校
第1学年通信
夏休み前特別号
文責：

～一歩踏み出した先に見えたもの “貢献” は小さな挑戦から～

初めての社会の提出物では、中間テスト前だったので、他の教科の課題も多くてあまり工夫せずに、「出された問題だけを解いていく」だけをしていました。そうしたら、返却されたときに自分が自分に対して悲しくなりました。なので、「次は絶対 A を取ってやる」と思い、自分なりに工夫をし、1 番いい評価を取ることができて嬉しかったし、これからもがんばろうと思えるようになりました。

自分は入学した頃、うまく中学校生活を送れるか、新しい友達とも仲良くできるかなどたくさん不安がありましたが、実際中学校生活を送っていくうちに新しい友達がたくさんできて、勇気を出して立候補した書記にもなれたので勇気を出して良かったなと思いました。昔の自分よりも勇気を出す力がついたのでこれからもどんどんチャレンジしようと思いました。

自分が成長したと思うところは、「親切な行動を心がける」ということです。中学生になってからは少しの親切な行動だけでも結構生活が変わることに気づきました。例えば挨拶をしっかりとすることや、友達の消しゴムが落ちた時は拾うことなど、ほんの少しの親切さが積み重なって、大きなことに変わると気づきました。

小学校のころから集配係を続けてきていて少し変化がありました。小学校では「誰かのためにやる」と思いながら集配してきました。しかし中学生という新しい環境で学年訓の「貢献」について考えました。そして時間がたつにつれて、僕は「誰かのためにやる」のではなく「みんなが幸せになるように気遣いをする」ことを意識するようになりました。これからも色々な経験があると思いますが、その経験を意識し、全身全霊で取り組みたいと心から思っています。

僕は中学 1 年生になって級長になり、「クラスのためにできることは？」と考え、「僕の得意なことでクラスを楽しく元気にしたい!」という考えを持つようになりました。これまでの僕はチャレンジしたり、声かけをしたりすることが怖くてあまりできずにいたけど、この学校、このクラスに来て声かけをすることができ、そこが成長したと思います。

前までは実行委員とかあまりやっていなかったけど中学生になり、校歌実行委員や敬老会実行委員をやってみて、今までの自分より「自分からやろう!」という気持ちが出てきました。活動はこれからのけど、「苦しいことに挑戦して良かったな」と思うし、これからも自分から率先してできることを増やしてがんばりたいです。

自分は前までは人に言われてから動き出していたりしたけれど、リーダー会に入ってからリーダー会のみんなで協力をして、自分たちでキャンペーンや目標を考えると、自分は人に言われてやるのではなく自分たちでより良い学校を作っていくということが大切だとわかりました。

部活の大会を通して、仲間と一緒に同じことを頑張り、喜びや悲しみを分かち合う素敵さを学ぶことができました。自分のできることを精一杯尽くしましたが、3 年生が引退することになったと知り、とても悲しい気持ちになりました。そこで、友達と一緒に自分の気持ちを伝え合い、分かち合うことができました。そのおかげで新しい視点が生まれ、絆がより深まった感覚がありました。この経験を通して、私は成長できたと思います。

自分のよい行動一つで誰かの役に立つことができるし、協力してみんなで達成できるという達成感を合唱コンクールで味わいたい。そこで自分もクラスの一員としてみんなとよい思い出を作っていきたいなと思いました。色々な人と関わることで、自分一人の考えよりみんなで考えた方がよりよい考えが見つかると思うので、これからも考えを広げている人々と関わっていきたいです。

～仲間の姿から見つける “貢献” “6つの愛” ～

最近、蕉亜さんが声かけをして、周りの人がその声に気付き行動している人がいてすごいなと感じています。今度は一人だけに任すのではなく自分も声かけをして、それが広がっていくといいなと思いました。

守道さんや伊原木さんが周りに声をかけていることが素敵でした。また、加藤さんが、自分が伝えたいことだけを発言するのではなく、誰も手を挙げていない時に手を挙げていた事を自分も見習いたいと思っていた。それが“支え愛”や“学び愛”につながると思いました。

級長、副級長の二人は、クラスのよいところや改善点を伝えたり、みんなに声をかけたりと、周りを見て行動しているところが素敵だと思いました。学年で大切にしている“6つの愛”でいうと、声を掛け合うところが「支え愛」、よいところも改善点も伝えて成長しようとしているところが「生かし愛」だと思いました。

愛依さんは、理科や音楽の授業が終わると毎回机の中を確認してくれています。愛依さんが毎回確認をしてくれているおかげでみんな忘れ物をしても届けてくれるからすごく助かっています。この行動は“貢献”であり、“助け愛”、“支え愛”だと思いました。

1-5のみんなは、学年訓の“貢献”や“支え愛”・“助け愛”ができています。北中タイムの振り返りや週目標の発表の時に「頑張っ手て手をあげよう!!」「ハンズアップ!!」などの明るい声かけができています。その声かけで手を挙げられる人も素敵だと思います。

そして、優音さんは毎授業すぐ動いて技術家庭科や保健の教科書・ノートをいち早く配っているところはとても感謝したいし、それを見つけて振り返りの時に発表できている人も素敵です。

一人一人の言葉を読み返していると、この4か月で「誰かの姿に学び、自分も一歩踏み出してみよう」と考える仲間がたくさん育ってきたことを感じます。夏休みも、それぞれの場所で新しい挑戦や出合いを大切に、9月にはさらに成長したみなさんに出会えることを楽しみにしています。